

第3学年 英語科学習指導案

日時 令和5年10月5日(木) 5校時
 場所 厚岸中学校 3年A組教室
 2階少人数教室
 生徒 3年標準クラス 9名
 3年基礎クラス 13名
 授業者 標準クラス 教諭 河合 由美
 基礎クラス 教諭 松浦 未郁

1. 単元名 Lesson 5 Being True to Ourselves

2. 単元の目標

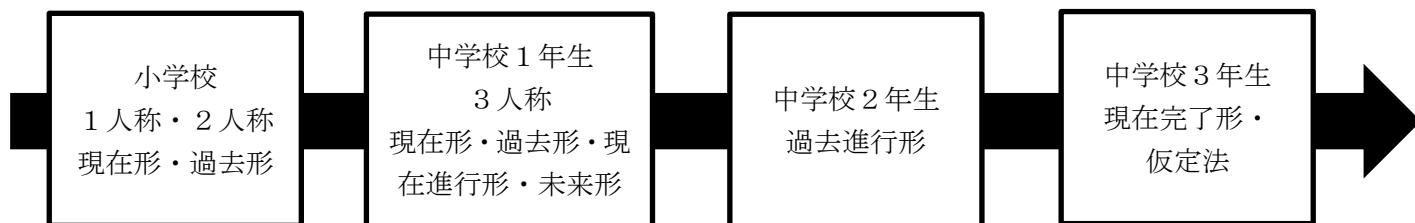
日本に来たばかりのヴィンセント先生の悩みを解決するために、具体的なアドバイスをすることができる。

3. 単元について

本単元では、メイが「もし兄弟がいたら」という話をしたり、ケンタがメイに「すべての人が一緒であるべきか」についてスピーチを行ったりする。文法は仮定法の中の仮定法過去を扱う。3年生はこれまで、現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形などさまざまな時制を学んできている。仮定法は令和3年度から中学校での学習範囲となっており、中学校3年生にとっては難しい文法事項であるが、既習文法事項(条件節を伴う if)の復習も行いながら自分自身で仮定法を用いた表現ができるような活動を行っていく。

単元末には「書くこと」の技能でパフォーマンステストを行うこととしており、単元内では進路選択に悩む友人に相手の考えや立場を考えて手紙を書いたり、日本に来たばかりのALTの生活面などでの悩みに対してテキストでアドバイスしたりする活動を行っていく。

全国学力・学習状況調査において、本校の「書くこと」における平均正答率は16.8%であった(全国平均21.1%)。無回答率も全国平均より5ポイント以上高い。基礎コースにおいては、英文を主語で書き始めることを理解していない生徒、書きたい内容があっても文法や単語の知識が不足のために正確に書くことができず、あきらめてしまう生徒もいる。そのため本時では、生徒の英作文をロイロノートで提出させて、教科担任やALTが後日修正して返却したり、返却された英作文を確認して書き直すなどの取り組みを行い、正確に書くことができる力を養いたい。



4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な仮定法の特徴やきまりを理解している。 身近な話題について、仮定法を用いて自分の考えを書く技能を身に付けている。 	相手の立場に立って適切なアドバイスをするために、相手の悩みについて自分の意見や感想を整理して簡単な語句や文を用いて書いている。	相手の立場に立って適切なアドバイスをするために、相手の悩みについて自分の意見や感想を整理して簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

5. 指導と評価の計画（全13時間）

時数	ねらい・学習内容 学習活動, など	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1～3	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 5 の見通しを持つ。 Lesson 5 Part 1 の単語・本文を扱う。 さまざまな架空の状況を設定し、自分だったらどうするか説明する。 			◇授業への取り組み・振り返りシートへの記述
4～6	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 5 Part 2 の単語・本文を扱う。 高校選択に悩むケンタの立場に立って、根拠を持ってアドバイスする。 			◇授業への取り組み・振り返りシートへの記述
7～9	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 5 Part 3 の単語・本文を扱う。 「もしみんなが同じであったら」という状況について、自分の考えを説明する。 			◇授業への取り組み・振り返りシートへの記述
10	<ul style="list-style-type: none"> 日本に来たばかりのALTの悩みに対してアドバイスする。 			◇授業への取り組み・振り返りシートへの記述
11 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 日本に来たばかりのALTの悩みに対して具体的にアドバイスする。 			◇授業への取り組み・振り返りシートへの記述
12	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト（書くこと） 	◆仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解して書くことができる。	◆相手の立場に立って適切なアドバイスをするために、相手の悩みについて自分の意見や感想を整理して簡単な語句や文を用いて書いている。	◆相手の立場に立って適切なアドバイスをするために、相手の悩みについて自分の意見や感想を整理して簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
13	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト（書くこと・読むこと・聞くこと） 	◆仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解して書いたり、読んだり、聞いたりすることができる。	◆架空の設定や理想の状況について書かれた英文を読んだり聞いたことについて概要や要点を捉えたり、自分の考えや思いを簡単な語句や文を	◆架空の設定や理想の状況について書かれた英文を読んだり聞いたことについて概要や要点を捉えようとしたり、自分の考えや思いを簡単な語

			用いて書いたりすることができる。	句や文を用いて書いたりしようとしている。
--	--	--	------------------	----------------------

6. 本時について

町研研究主題との関連

【研究主題】 地域・社会に生きてはたらく力を育む厚岸町の教育
～育成を目指す資質・能力を明確にした授業改善～



【外国語部会 研究テーマ】
「児童生徒が主体的に考え、英語で表現する力の育成」

【本時でねらいとする資質・能力について】

本校の3年生の Can Do List では、書くことの技能において、「聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えを書くことができる。」という目標を設定している。本単元では、高校選択に困っているケンタの悩みや、ALTが困っていることを書いて送ってきたメッセージを読み、相手の立場を考えて適切なアドバイスを考えて書く活動を繰り返し行う。

本時では、ALTの立場を考えやすいように、明確な状況設定を行い、生徒が「ALTのためにどんなアドバイスをしたら良いのか」を主体的に考えることができるようにする。

また、標準コースでは、アドバイスと英語表現両方について個人思考の後にグループで交流を行うが、基礎コースでは、「アドバイスは考えたが英語での表現が難しい」生徒が半数を占めることが予想されるため、アドバイスを考える部分を個人で行い、グループで英語表現を考える。

書く力は短期間で身につくものではなく、単語や文法を覚えることには個人の努力が必要な面もある。授業では、多様な英語表現に触れて自分の知識に取り入れることを重視したい。英語表現の正確さについては、教師が提出された英作文の添削を行うことで誤りに気付かせることで、正しく英文を書こうとする意識を生徒に持たせたい。

(1) 本時の目標

ヴィンセント先生の立場に立って、困っていることに対して具体的にアドバイスをすることができる。

(2) 展開 (標準)

過程	学習活動	教師の働きかけ	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none">○Greeting Student Teacher により、挨拶をする。○単語練習 (ペア)○Warm up○前時の復習 (どんなことを話したか。どのような英語を使ったか。)○課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none">○ペアで単語練習の指示を出す。○簡単なスモールトーク○前時に話したトピックや、話す前に使った文を板書する。○課題を確認させる。	
<p>課題 ヴィンセント先生の悩みに具体的なアドバイスをしよう!</p>			

<p>展開 (40分)</p>	<p>○ヴィンセント先生の悩みを確認する。 ・先生の状況について、質問があればして確認をする。</p> <p>○情報をふまえて、どのようなアドバイスが適切か、理由とともに考える。</p> <p>○グループで自分が考えたアドバイスとその理由を伝え合い、他者のアドバイスを知る。</p> <p>○再度自分のアドバイスを見直し、足りない部分を付け足すなどして、ロイロノートで提出する。</p>	<p>○ヴィンセント先生からのメッセージをロイロノートで送る。 *I don' t have a car. I cannot go to a supermarket. ・I live near Akkeshi station. ・I don' t have enough money to buy a car, but I can buy a bike. ・I like running.</p> <p>○情報をふまえて、どのようなアドバイスが適切か、その場合、どのような表現を使うかを考えさせる。</p> <p>○グループで自分が考えたアドバイスとその理由を伝えあわせる。その際、新しい表現などに気付いたら参考にするよう伝える。</p> <p>○グループでの交流の際に気付いた他者のアドバイスや英語の表現等を取り入れるように伝える。</p>	
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○振り返りシートに本時の振り返りを記入する。</p> <p>○挨拶</p>	<p>○振り返りの視点を与えて、振り返りシートへの記入を促す。</p> <p>○次時のことを伝える。</p>	<p>【主体的に学習する態度】 ・相手の考えや状況を理解しようとしたか。 ・相手に合ったアドバイスをしようとしたか。 以上の2点を自分で振り返って記述することができたかを見取る。 ※B評価：「与えられた条件に沿ってアドバイスを考えた」という記述 ※A評価：与えられた条件以外にも想像力を持って考えられている記述</p>

展開（基礎）

過程	学習活動	教師の働きかけ	評価規準（評価方法）
導入 （5分）	<p>○Greeting</p> <p>○前時の復習</p>	<p>○前時に扱ったALTの困っていることや、アドバイスに用いた英文を板書する。</p> <p>○前時の授業で扱ったものとは異なる悩みを提示する。</p>	
<p>課題 ヴィンセント先生の悩みに具体的なアドバイスをしよう！</p>			
展開 （40分）	<p>○ヴィンセント先生の悩みを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が音読する。 ・必要に応じて、イラストや地図を用いる。 ・先生の状況について、質問があればして確認をする。 <p>○情報をふまえて、どのようなアドバイスが適切か、理由とともに考える。（可能な限り、自分の力で英作文をする。）</p> <p>○グループで英作文を見合っ て、英文の表現について考える。（文法の正しさ、使用する単語など）</p> <p>○ロイロノートでアドバイスを提出する。</p>	<p>○ヴィンセント先生からのメッセージをロイロノートで送る。</p> <p>*I don' t have a car. I cannot go to a supermarket.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I live near Akkeshi station. ・I don' t have enough money to buy a car, but I can buy a bike. ・I like running. <p>○情報をふまえて、どのようなアドバイスが適切か、その場合、どのような表現を使うかを考えさせる。</p> <p>○似たアドバイスを考えた人同士でグループを作り、英文の表現を考える。可能であれば、新しい意見を取り入れる場でもあると伝える。</p> <p>○ロイロノートに提出されたアドバイスを全体で共有する。</p>	

まとめ (5分)	○振り返りシートに本時の振り返りを記入する。	○振り返りの視点を与えて、振り返りシートへの記入を促す。	【主体的に学習する態度】 ・相手の考えや状況を理解しようとしたか。 ・相手に合ったアドバイスをしようとしたか。 以上の2点を自分で振り返って記述することができたかを見取る。 ※B評価：「与えられた条件に沿ってアドバイスを考えた」という記述 ※A評価：与えられた条件以外にも想像力を持って考えられている記述
-------------	------------------------	------------------------------	--